

清水谷高校図書館の様子



① 資料センターとしての役割

清水谷高校図書館の歴史は古く、女学校時代までさかのぼります。それらの本は今も保管されています。

新制高校発足以来、蔵書数は増加を更新して令和5年現在、2万数千冊に達しています。限りある予算の中から図書出版物を新しく購入する際の本校図書館の基本方針は、

- I 資料的価値が高いもの
 - II 生徒にとって必要と思われるもの
 - III 生徒の要望に沿うもの
- この3点を特に配慮しています。

毎年、図書委員による選書実習（書店へ出向いて図書館に置く本を選んで購入すること）を行っており、図書委員は本校生徒全員の財産である蔵書購入の一部を担う重要な役割を果たしています。

② 文化的センターとしての役割

本校図書館では生徒の「文化的」発達を保証するために、様々な行事・催しを行っています。

例えば、読書会・ビブリオバトル・かるた会など様々な図書の紹介展示など定期的に開催しています。このようないろいろな活動によって、本校図書館は「文化センター」としての重要な役割を担っています。

生徒の好奇心をくすぐるような、楽しい行事を作り上げようと図書委員が一丸となって頑張っていくことで参加者だけでなく企画・運営する図書委員も、その準備作業を通して文化的に成長していくことができるでしょう。

～図書委員による文化的活動の様子～



図書委員作成
ブックカバーと栞(しおり)



選書実習（場所：丸善ジュンク堂大阪本店）



「ビブリオバトル」
～本の魅力を熱く語ろう～



新春「かるた会」



「図書館報第500号」記念号
先生からおすすめ本の紹介